Tianjin Tour

天津の魅力伝える「東方芸術展」10月27日から開催

中国国家観光局駐日本国代表処、天津市観光局などは10月27～31日の5日間、「天津文化観光ウィーク及び衆芳所在―東方芸術展」を東京・港区の東京中国文化センターで開く。

中国を代表する港湾都市として栄えた天津市の文化遺産、観光素材などをPR。天津南開大学東方芸術学部の芸術家も来日する。書画、篆刻の実演、陶磁器の展示も行う。イベントに先立ち、天津の観光の魅力を紹介する。

天津市は、中国の4大直轄市の一つで、中国北方の渤海経済圏の中心都市だ。国際貿易で有名な一大港湾都市でもある。北京との距離は120キロで「京津城際鉄路(新幹線)」が約30分で結ぶ。

天津濱海国際空港には、19カ国の航空会社が乗り入れ、100を超える航空路線がある。年間旅客数は1千万人を超える。日本の都市との間を結ぶ航空路線も新規路線、チャーター便の就航が活発化している。

天津港は世界最大の人工深水港で、貨物輸送では180カ国・500港とつながっている。米国やイタリアをはじめとした大型客船も数多く入港。同時に6隻の大型クルーズ船の停泊が可能で、年間50万人の通客能力を有する。日中韓アジアルートのクルーズ船も多数運航されており、今後の国内外クルーズの拡大、発展が期待される。

『天津文化観光ウィーク及び衆芳所在―東方芸術展』
開幕式：10月27日(月)午後3時～
挨拶、テープカット、席画披露と交流
展　　示：10月27日(月)～31日(金)
午前10時30分～午後5時30分
※最終日午後4時まで
講　　演：「私の初めての中国」(学生4人)
10月30日(木)午後4時～6時
セミナー：「天津観光の可能性」(天津の旅行会社)
10月31日(金)午前10時30分～午後12時30分
開催地：東京中国文化センター　東京都港区虎ノ門3－5－1　37森ビル1階
主催団体：東京中国文化センター、中国駐日本観光代表処、天津市観光局、天津市美術家協会、南開大学東方芸術学部
後援団体：中華人民共和国駐日本国大使館、新華社日本総局、日本外務省、日本国土交通省観光庁、日本政府観光局(JNTO)、一般社団法人日中友好協会、日中友好議員連盟、社団法人日中協会、一般財団法人日本中国文化交流協会、一般社団法人日本旅行業協会、一般社団法人全国旅行業協会、一般社団法人東京華僑総会、日本華僑華人文学芸術界聯合会(予定含む)

古文化街　天津十景の1つで、国家5A級の観光地。中国・天津・文化・昔といった要素を有する。

黄崖関長城　世界文化遺産で国家第一陣の4A級観光地。毎年、国際マラソン大会も開かれる。

西洋風建築群　租界地があったため、街にはエキゾチックな風情が残る。天津五大道には、英、仏、伊、独などの西洋風建築230棟、有名故人宅50余棟が並び「万国博物館」と呼ばれる。

東彊港国際客船母港　毎年100隻ほどの国際豪華客船が来往している。

衆芳所在―東方芸術展出展者作品

張文恒　南開大学東方芸術部教授。作品はかつて第一回中国油絵双年展、97年中国芸術大展中国画作品展、第九回全国美展、第十二回全国美展油絵分展、国画分展等の展覧会に出展し賞を受賞、専門書や画集を70余り出版している。

陳聿東　天津南開大学東方芸術部教授。天津美術家協会理論委員会副主任、九三学社書画院特別招聘画家。作品は国内外の主要な展覧会に多く出展し賞を受賞している。一部の作品は国内外の収蔵家や関係機関に収蔵されている。著作：『国画芸術』『中国近現代名家画集』『外国美術通識』『仏教文化百科』『仏教と彫塑芸術』『中国大百科全書・美術巻』等。

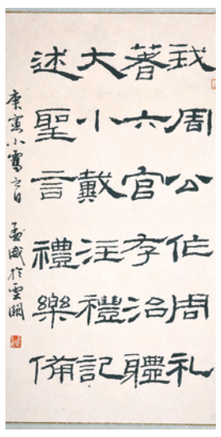
張永敬　天津南開大学文学院東方芸術部教授、教学指導委員会委員。中国美術家協会会員、天津美術協理事。天津市第十三～十六回人民代表大会代表。作品は第一回全国少数民族美展優秀作品賞、天津市魯迅文芸賞等多くの賞を受賞。出版は『中国花鳥画概論』『滬露香冷画菊花』『張永敬花鳥画集』等。

趙均　画家、教授。天津南開大学東方芸術学部部長、教学及び学術指導委員会委員、天津芸術独立論壇副理事長。主要著作：『趙均画集』『白描教学』『国画写生と創作』『美術語言学研究』等。

許書瀚　江西省工芸美術師、江西省高級技師、第十三回「瓷都十大傑出青年」を受賞。中国工芸美術大家である馮傑、江西省工芸美術大家である張中聞の弟子。作品『歓天喜地』は第八回全国陶磁器大会金賞を受賞など。

黄景鋒　江西省陶磁芸術大家、江西省高級工芸美術師、中国工芸美術協会会員、景徳鎮美術協会会員。中国工芸美術大家(青花大王)黄賈九の弟子。

胡健　天津南開大学文学院東方芸術部、芸術設計部客員教授。中国書家協会会員、天津美術家協会会員、天津市河東区書協副主席。書道作品は全国第十二回群星賞優秀賞を受賞など。篆刻作品は西泠印社第一回、第四回、第五回国際篆刻書道展中国印大展に出展。



孟威　人文芸術院院長、天津南開大学文学院客員教授。中国書家協会会員、天津市書家協会理事、天津市書協青少年書道委員会副主任兼秘書長等。「全国少年児童書道教育十大名師」「天津市第四回徳芸双馨」等を受賞。『大型書道集字叢帖』『中国書道二十八経典』『中国歴代書道精粋』『篆刻辺款』等。

張顯果　天津南開大学東方芸術部芸術学専攻修士。河北美術学院講師。作品『大山』は建党90周年大型美術采風展入圍賞を受賞。『高原の光』は中国高等芸術院在校学生美術作品年鑑一等賞を受賞。『深林尽出人家』、『古道雲山澗』の両作品は北京大芸博展覧に入選した。

姫忠華　天津南開大学東方芸術部芸術学修士。北方民族大学設計芸術学院中国画部主任、教授。作品『衆志成城』は第十一回美展に入選。『清梅』は全国中国画展に入選した。

張俊　天津美術学院中国画花鳥専攻修士。天津市十佳青年美術家である。中国美術家協会会員、天津市美術家協会理事、天津農学院芸術部主任、副教授。作品『幽香』は全国書、詩、絵展覧会優秀賞を受賞。『江南江北雪漫漫』は天津市第一回花鳥画大展金賞を受賞。

馮聯娜　景徳鎮美術協会会員、景徳鎮市高級陶磁器美術師、江西省陶磁器美術師。中国工芸美術大家の馮傑氏より学ぶ。作品『春意盎然』は第十二回国家工芸美術師展「金賞」を受賞。『樂華富貴』は2011年深セン芸博会「金賞」を受賞。作品は江西省博物館に収蔵されている。

王振　天津南開大学東方芸術部修士。作品は東方芸術部優秀9人展に参加、『山水清賞系列』5作品が入選し「大芸之境」中国学院青年芸術家激展に巡回展覧された。『滄樹有閑』、『水墨清賞系列』は第四回中国高校美術作品学年展優秀賞等を受賞。

徐振飛　天津南開大学東方芸術部卒業。首都師範大学美術学院修士。南開東方芸術部教師学生書画連展、鴻徳芸術館南開九人展、北京798「墨韻心象」双人展、「清風文脈」個展などに参加。

尹顯祖　天津南開大学東方芸術部卒業。首都師範大学美術学院修士。南開東方芸術部教師学生書画連展、鴻徳芸術館南開九人展などに参加。

朱紅師　天津南開大学東方芸術部教師学生書画連展、鴻徳芸術館南開九人展、北京798「墨韻心象」双人展などに参加。

武灵雨　天津南開大学美術学修士。中国絵画専攻。

上海でCITM(中国国際旅行博覧会)

11月14～16日

今年のCITM(中国国際旅行博覧会)は11月14日(金)から16日(日)まで、上海新国際博覧センターで開催される。CITMは毎年国内外から2千人以上のセラー、千人以上のバイヤーが参加する大型旅行博覧会で、会期中は世界各地から参加者が集結する。14日に開幕を迎え、3日間にわたってビジネス商談や交易会、特色あるブース出展による観光情報の紹介、発信が行われる。

上海市のMICE(ミーティング、インセンティブツアー、コンベンション、エキシビション・イベント)施設は非常に豊富。10以上の展示施設、二つの大型コンベンションセンター、100を超える高級ホテルがある。

年間を通じて、国際レベルの展示会などが開催されており、本年秋以降も中国国際医療設備設計と技術展、上海紡績服飾展示会、2014アジア電子展・中国国際半導体博覧会などが目白押しだ。

また市内、周辺都市にはさまざまな客層の好みに合った観光スポットが数多く点在。高速鉄道の発達に伴って、蘇州や杭州などの近郊都市へのアクセスも30分から1時間ほどとなった。これらの上海の便利さや選択肢の多さが、MICE前後のプレ・ポストツアーの満足度の高さにもつながっている。

中国は2013年に世界最大の海外旅行市場となり、4年には約1億2千万人の海外旅行者を送出する予測がある他、現在世界3位の観光客受け入れ国となっており、今後の観光市場はますます伸びる見込みだ。

CITMの詳細、出展希望は公式HPからアクセスhttp://www.citm.com.cn。

上海新国際博覧センター